

広 報

ふじかわ

10月号

昭和56年10月20日発行

No. 243

町のメモ

昭和56年10月1日現在

人口	17,016人
増減	+ 14人
男	8,427人
女	8,589人
世帯数	4,311世帯
面積	31.09km ²

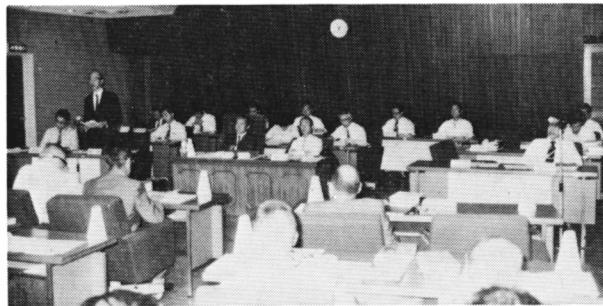
富士川町 企画開発課



さあ、みんなファイト！

(表紙の言葉は2ページに)

町の今年の目標
「笑顔であいさつ明るいまに」



点に用地買収および工事を県と協議しています。一方、県道富士宮―由比線から西側は、今まで通り用地買収を進めており、墓地関係の補償も本年に完了する予定です。いずれにしても、国の予算の減少にともなう事業費の削減は、昭和57年度も必至と見られますので今後とも陳情を行い、予算の増額をはかるよう努力する所存です。

◎企業誘致について

昭和55年7月ごろ、たつみ電気から、現在ある工場付近が浦原町の区画整理の対象となつてゐるため、この際、富士川町に移転したいので、どこか適当な土地を幹

旋して欲しいとの申し込みがありました。これを受け調査の結果、東海企業(株)が山砂利を採取した跡地(平清水)の中の二千坪を交渉買収したわけです。その後、手続を済ませ、昭和56年5月に着工、9月末に完成の運びとなりました。今度の場合は、企業者との諸条件が比較的スムーズに行われたわけですが、今でも他の企業から時々問合せがあるので、今後の開発計画ともにも合わせて進めていきたいと思ひます。

◎行政の見直しを積極的に行う

町では、電算機の導入や事務機器の整備の他、事務の合理化、機構・組織の改革、事務・事業の一部民間委託など、積極的に進めていますが、現在、国で論議されている第二次臨時行政調査会の答申については、国・県の動向をみながら対処していきたいと考えています。なお町独自の行政の見直しは財政とのからみがありますが、今後も積極的に進める所存です。

◎野田山自然公園は

野田山開発については、自然環境および生活環境整備事業の一環として健康緑地公園を設置し、町民のみなさんが利用できるようにその計画を煮詰め、来年度から事業を開始しますが、初年度事業としては、植栽を主体とした自然環境の整備およびベンチ、トイレ、

遊歩道の開設・改良などが計画されています。これに対する費用は約三千百万円を予定しています。

◎防災訓練には七千八百人が参加

9月1日早朝、東海地域の地震観測データの異常発見により、判定会が招集され、警戒宣言発令時刻は不明、地震発生は午前10時30分――という想定で訓練が行われました。当町で訓練に参加した団体は、自主防災組織の三十二団体を始め五十四団体七千八百人、うち役場職員百五十人でした。

◎交通安全講話・自主防災組織の研究會・町政懇談会について

交通安全講話の参加者は六百四十五人

年々交通事故は増加する傾向にあるため、みなさんに正しい交通ルールとマナーを習慣づけてもらい、交通事故防止の徹底をはかる――と、7月16日から町内十五会場で、警察・交通安全協会・区長会・婦人会と共催し、交通安全講話を開催したところ、六百四十五人のみなさんの参加を得ました。

◎自主防研究会には七百四人が参加

大地震の被害は想像を超えるものと考えます。大規模地震対策特別措置法の制定は、地震観測による予知が基礎となつてゐるのはみなさんご存知のことと

思いますが、防災訓練も被害を最少限度に止めるためのものでこれを実施するのは住民のみなさんであり、また、自主防であることから、8月11日を皮切りに町内十二会場で、自主防研究会を開きました。この間、参加したみなさんは七百四人です。

一般会計の補正内容

- 総務費に四千八百十三万円
- ◆広報「ふじかわ」縮刷版保存用町勢要覧印刷発行費に 二百七万円
- ◆大栗窪町有地造成工事に 二百二十万円
- ◆衛生費に八百七十七万円
- ◆し尿収集業務請負委託料に 五百七十五万円
- ◆農林水産業費に 五千百十三万円
- ◆農免農道追加工事 南松野かん排工事、川坂山農道改良工事、原方・三十坂地内水路補修工事 北松野上谷水路付替工事に 四千二百二万円
- ◆土木費に 二千八百四十三万円
- ◆宮町地すべり関連工事、雨量計
- ◆町政懇談会は11月中旬から町の将来を展望した町づくり基本計画および実施計画の見直しについても、住民のみなさんとの懇談が必要と考えまして、11月中旬から地域を区分し、夜間、町政懇談会を開く準備を進めています。
- ◆コンビューター接続工事に 二百九十万円
- ◆農免、岩淵調査設計審査委託料に 五百五万円
- ◆片羽東名線法留工事、松野内房線側溝改良工事、富士川由比線山留工事、木島野野線路面補修工事、黒里前三号線側溝改良工事、町道案内道路標識に 五百六十七万円
- ◆上町小山線改良工事にともなう用地測量および土質試験委託料に 二百十九万円
- ◆血流川左岸道路付帯工事、上町小山線改良付帯工事に 一千二百五十万円
- ◆矢所沢改修工事、大明神川改修工事、坂下水路付帯工事、小沢護岸改修工事に 三百万円
- ◆災害復旧費に二百五十万円
- ◆町道木島小山線災害復旧工事に 二百五十万円

生活関連事業を中心とした投資的事業やし尿収集業務請負委託料を主体に1億4,910万円を補正

町議会の9月定例会は、9月21日(月)午前9時から議場で開催され、常葉町長の一般行政報告を皮切りに、昭和56年度一般会計補正予算・土地取得特別会計補正予算、教育委員の任命につき同意を求めること(九ページで紹介)など、七議案が審議され、すべて原案どおり可決されました。

昭和56年度一般会計補正予算は、生活関連事業を中心とした投資的事業、町政八〇周年記念事業、し尿収集業務請負委託料などを主体に一億四千九百十万円を補正、予算総額は二十三億八千二百六十万円となります。これ

に要する経費は、地方交付税、国県支出金、繰越金などをあててゐます。

昭和56年度土地取得特別会計補正予算は、県道および町道事業にともなう移転代替地など、公共用地の先行取得に対処するもので、六千四百六十六万円を補正、予算総額は一億一千二十五万円となります。このための財源は、土地取得会計所有の土地売却代金と一般会計より繰入れ充当してゐます。

なお、一般行政報告と一般会計補正予算の内容は次のとおりです。

一般行政報告

◎共立浦原総合病院の建設経過は

造成工事および本体工事は、病院特別委員会での内容の検討をお願いし、みなさんの意見をもとにより良い病院を造るよう、現在、コンサルタントおよび建築事務所設計中です。

また今後の見通しとしては造成工事の設計完了が9月末日、本体工事の設計完了が10月下旬ころになるかと思ひます。したがって、本体工事は手続きなどの関係で、予定通り12月ころには発注できると思ひます。さらに進入路工事につきましても、7月下旬発注第一工区は富士川町建設共同企業体が、第二工区は浦原町建設共同企業体がそれぞれ落札し、現在施行中です。ですから現在のまま進めば、予定通り昭和58年4月完成は見込まれると思ひます。

◎企業局の中野宅地分譲事業は

6月の定例会で報告しました。が、その後も引続き買収に努力した結果、9月中旬現在、買収予定面積の七〇割が完了しました。なお約四十人のみなさんが未買収となつていますが、より一層のご協力をお願いしたいと考えています。

つぎに代替地については、駿河農場跡地の十二区画のうち九区画の分譲が完了しています。また、ほてい佐詰側裏の造成工事についても、当初の予定より多少遅れていますが、今月下旬には面積を確定できると思ひます。

さらに居住者十五人のみなさんとも話し合いが終り、良い結果が得られることと思ひます。終了目標も多少ずれましたが、10月末か11月上旬には完了できるよう努力する所存です。

◎国道一号線富士川橋の架替えと県道富士川―身延線バイパス工事は

国一・富士川橋の架替えについては、みなさんに関心のことと思いますが、本年も7月に陳情を行いました。その際、国の対応は徐々に良い方向に進展しているような感触でした。また、県においても単独で調査費をつけており、詳しい報告はまだ得ていませんが、架替えの実施計画に進んでいるものと思われまます。

つぎに、県道富士川―身延線バイパスについては、昨年より事業費は減少していますが、有瀬瀬川橋の橋梁整備も昭和57年度に繰り上つたので、これらとの関係を重

表紙のふし

「全町民が積極的に参加しスポーツを通じて一日を楽しく過ごして明日への健康生活の糧とし、あわせて町民の社会体育の推進に寄与する」という大会主旨ののりとり、町をあげてのスポーツの祭典である「町民体育大会」が、秋晴れの10月4日、町立第一中学校グラウンドで行われた。今大会からは松野地区が四チームに分れ、全町で十七チームが参加した。

午前8時、各区選手団の入場、開会式。午前8時45分、競技開始。今年は町制施行八〇周年の記念の年のため「スポーツふじかわ」と銘打った町内のスポーツ団体の紹介がプログラムに繰込まれ、楽しい大会だった。しかし各々の得点争はし烈をきわめ、大会最終種目の年齢別リレーにまでもつれ込み、同リレーで優勝した東町・日の出町チームが七つの得点種目で二十四点を獲得して総合優勝に輝き、準優勝が新町・四十九チーム三位が宮町と南松野Bチームという結果となった。

今月のテーマ

広報ディスプレイション

私の老後の設計図

与えて
求めざる生活

相生町 大石四郎さん

私たち高齢者は、いま物心両面ともに最高に恵まれていると思う。これは戦後の福祉施策と国民全般の深い理解協力によるものと思料される。この状況認識に立脚した生活設計こそ、高齢者の生きがいであり、有るべき姿と思う。私は「まきの木大学」に入学し

提言者
望月喜子さん

「まきの木大学」では、ハイキング、ゲートボールのように健康増進のためのものや、趣味を生かす華道、詩吟、民謡など、いろいろなクラブ活動が活発に行われている。その中で、私は舞踊部の講師として、毎月一回、お年寄りのみなさんとお付き合いをしていた

て以来、この理念について話し合い、その具現化に専念している。すなわち高齢者は過去の年輪の中で、数多い体験を通して身につけた尊い宝物を内蔵している。これを自己の専有物にしないで、生きがいの趣味を通して家庭に、グループに、また社会に還元し分かち合いたい。「まきの木大学」の例、老人ホーム慰問、クラブ発表会、クラブ共同学習など。高齢者は温かい環境に自己満足することな

いている。神経痛をおして一生懸命に舞踊に打込んで「まだまだこれだけ体が動くのだから何でもできますよ」と頑張る人、汗だくで走り回って人の世話ばかりやいて

く、健康管理に専念し、さらに友情の輪を大きく広げ、人に与えるだけ与えて求めない生活こそ老化を防ぎ「老花」が大きく咲くことと思う。

平凡

木島 若月満喜之さん

ボーイとした意識の中に手が動く、足が動く、目が見える。今日も無事である。妻、息子、夫、婦孫たちがそれぞれの生活を始めた

命に舞踊に打込んで「まだまだこれだけ体が動くのだから何でもできますよ」と頑張る人、汗だくで走り回って人の世話ばかりやいて

がある。県内には、老人が自分で働く場を開拓して生きがいを見出そうと「便利組合」を作ったり、仲間同志で「ささやか劇団」を作り、女性史の演出をして老後の生き方を考え合っている人たちがいる。それはともかく、必ず来る私の老後、私はいかに美しく、魅力的に生きるかを考えている今日このごろです。あなたは老後の設計図がお立ちですか。

妻のたてた茶で
暮を囲む図

旭町 長橋正啓さん

老後の生活設計は？と聞かれても、はずかしながら私はこのことに関してまったく白紙である。「五十而知天命」といわれる世代に近い私にすれば、誠にうかつな

いつまでも
学ぶ気持を持ち続ける

道下 朝比奈千瀬子さん

「老後の生活設計？先づ蓄えること。目的を持ってこつこつ貯金をする、それを前提にしている。いろいろ考えてみたら」と主人の発言です。日本の高齢人口の増加はこれから本番といわれています。

通し、人との和を保ち「人生を明るく楽しく」をモットーに、社会に協力していきたいと思う。

てしまうようなものこそ、私たちの生活には、大切ではないでしょうか。



私にこれをやらせたら誰にも負けないというもの——たとえば「はたおり」「おかざりづくり」「手打そばづくり」など、いろいろなものがあります。富士川の隠れた文化人を一人でも多く掘り出し、見直そうではありませんか。

提言者 桐山 明子

◎11月のテーマ

町の知られざる文化人

◎字数

四百字づつ原稿用紙を使用
して一枚以内。

◎締切り日 11月10日まで

◎投稿先・問い合わせ先

富士川町役場・企画開発課

◎注意事項

匿名者の原稿は掲載しませんから、締切り日までに、原稿用紙に必ず住所・氏名を記して投稿してください。また今月は、紹介形式の記事にしてください。

11月のテーマ

町の知られざる文化人

私たちは日常の生活の中で、よく文化という言葉を目にした

り、耳にしたりします。ところで文化とは、一体何なのでしょう。私たちの生活の中から生まれたもの、それらすべてが文化ではないでしょうか。

人々は、長い歴史の中でさまざまな文化を作り出し、常に自分たちの生活をよりよいものにするために、努力をしてきました。私たちは自分の周囲にあるすべてのものから学び、内面的な精神の豊かさを大切にしてゆかなければ、と思います。

秋の深まりとともに、文化の日がやってきます。富士川にも、数多くのすぐれた文化人が在任しておりますが、みなさんに知られていない隠れた才能の持主がたくさん埋もれているように思われます。一般の人々の手によって生まれた文化、長い間つちかわれてきて見過ごし

ことなのかもしれない。私のような給与所得者は、いくばくかの退職金で、石をもて追われるごとく企業を去り、いくばくかの年金を得て、わずかに糊口（こう）をしのぐことになるのである。しかし、その命の綱の年金のシステムすら、私はよく知らない。何ともんきな輩（やから）といわれても返す言葉もない。これが偽らざる私の姿である。米ソの核軍備は、大国の面子と賭けで止るところを知らずエスカレートし、身近には東海大地震のおののく時、老後の生活設計を試みること自体ナンセンスなのかもしれない。備えあれば憂いなし」ということももちろん承知はしているが、私流に設計図を書くとなれば、かたわらの老妻に茶をたてさせ、ある時はそのまろやかさをまたある時はその苦さ（め）で、暮を囲む図である。

農業・家族・旅が
私の目標

川坂 義 正巳さん

老後は何か生かしたなければと思ったのが一昨年のこと。いろいろ考えた末、結局次の三つに落ち着き、実行している。

第一 農家ゆえ、土をよくする。

実行している内、かんらんや玉ねぎの中にわらを切つて入れることやみかん畑に草を敷くことも苦にならず、大地と仲良くなり、身心が宇宙の生命の中に溶けこんでいるようないい気持ちになってきた。

奉仕活動で
足跡を残したい

東町二 望月政江さん

私は昨年3月に会社を定年退職しました。家には八六歳の母がいます。私自身まだ四〇代の考え方を

持っています。定年退職という形で現われ、老人の仲間入りをさせていた

はこれから作らなければなりません。私はまだまだ健康に自信もあります。母の世話をしながら、趣味だけを楽しく生活ではなく、何か私を生かせるボランティア活動がしたいと、現在探しております。そして少しでも社会参加をし、自分の生きてきた足跡を一つでも残したいと思っています。

明るく楽しくを
モットーに

原方 佐野 清さん

日本の平均寿命が世界でも優位であるとのこと、誠に喜ばしいと思う。若い時には老後などという言葉すら関心のなかった私が、いま目の前に自分の老後を迎えたと

いう事実は切実である。長い会社生活を終り、退職後はあれもこれもと思っていたものの、理想と現実は一致せず、少しばかりの野菜づくりをしてみたが余暇がありすぎてどうにもならない。そんなこともあり、知人の勧めで老人クラブに入会して一年半がたった。老人クラブには年中行事となつて

私は、町で行っている胃ガンや子宮ガンの検診を毎回受けています。お蔭様で「異常なし」という通知をいただいておりますが、今年の7月13日、胃ガンの検診の結果「胃にポリプの疑いがあるため精密検査」という書面を受け、驚いてすぐ胃カメラと胃液検査をしました。その結果、胃の中にポリプができていて、取り除いた方が良く、という事になり、即入院、9月4日に手術を受けました。手術

定期検診を受けよう

後の経過は、三個できていたポリプを取り除いただけで胃を少しも取らなかったため、自分自身でも驚くほど回復が早く、余病も出ませんでしたので、十三日には退院することができました。それに加え、先生から特別の注意もなく、通院も必要、今まで通りの食生活をしてしまわないうこと。また、取り除いた物の検査

坂下 佐野 芳江

国保に入る場合	届け出をしなければならぬ場合	準備するもの
	職場等の健康保険をやめたとき 転入してきたとき 子供が生まれたとき	印鑑、職場の保険をやめた証明書 印鑑 印鑑、保険証
国保をやめる場合	職場等の健康保険に入ったとき	職場の保険に入った証明書、印鑑
	転出するとき 死亡したとき	印鑑、保険証 印鑑、保険証
その他の場合	住所、家族に変更があったとき	印鑑、保険証
	世帯主がかわったとき	印鑑、保険証

●国保の届け出は早目に
国保に加入する時や脱退する時

などの届け出は、異動のあった日から十四日以内に民生課国民健康保険係へ。その際に必要なものを、上表に示してあります。

●国保に加入すると

国保に加入すると、国保税を納めていただくことになりますが、その内容は次の四つの項目を計算して合計されたものが国保税となります。

- 所得税 世帯の収入に応じて計算する
- 資産割 世帯の資産に応じて計算する
- 平等割 一世帯にいくらか計算する
- 均等割 加入者の人数に応じて計算する

これらの中で、資産割と平等割は前年の所得と資産によって計算

●交通事故と国保

近年、交通事故の多発によって国保とのトラブルが多くなっています。交通事故による治療費は、全額加害者が支払うのが原則となっていますが、とりあえず国保で治療を受けることが、きま

されます。会社をやめて国保に入ってきた人は、前年の所得額が所得割の基準になってきますので、あなたに届けられた納付書の内容を確認してください。

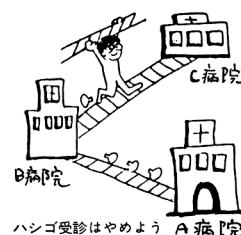
国保の台所はいま黄信号

今年、町では国民健康保険税の税率をすえおいて事業の運営に努力しています。これは、被保険者のみなさんが日ごろ健康管理に心掛けてきた結果であると考えられます。

第一に、お医者さんを信頼し、お医者さんめぐりはしない。お医者さんが、急に上昇のきざしを見せています。医療費や薬価基準の改訂が、どれだけの影響をおよぼしているかは、いまのところはつきりしませんが、もしこのまま

と、国保の財政がピンチになります。この際に、もう一度みなさんの国保を見直してください。

お医者さんめぐりはしない。お医者さんが、急に上昇のきざしを見せています。医療費や薬価基準の改訂が、どれだけの影響をおよぼしているかは、いまのところはつきりしませんが、もしこのまま



ハシゴ受診はやめよう

この他に、緊急な場合を除いてむやみな夜間、時間外受診をさけ、風間みてもらうことを心掛けてください。



町でおこなう健康診断をうけよう



くすりをたくさんもらうことを期待しない

第三には、早期発見、早期治療のため、定期検診を受けよう。

第二に、むやみに薬や注射をねだらないこと。

わしは町と同級生

富士川町が町になったのは、明治34年1月25日のことですから、今年の1月でちょうど満80歳になったことになりました。町ではこれを記念して11月3日の文化の日に、町立体育館で「町制施行80周年」の記念式典を行います。そこで今月は、町と同級生（明治34年1月生まれ）の町年寄りに、子どものころの思い出を語ってもらいました。



森中きくさん
(本通り)

私やあ明治34年1月12日に旭町で生まれたよ。子どものころの思い出という、私のお父さんが石屋をやっていた、田中伯爵の別荘現・野間別荘の石べいをこえていたもので、そこへお弁当を毎日もっていったことが一番だね。あの石べいも、この間、自動車で通つたらなくなっていて、とても寂しい気持ちになったよ。それから「テートパシヤ」があるね。「テートパシヤ」つうのはね、今の宮沢医院の近が立て場になっていてね



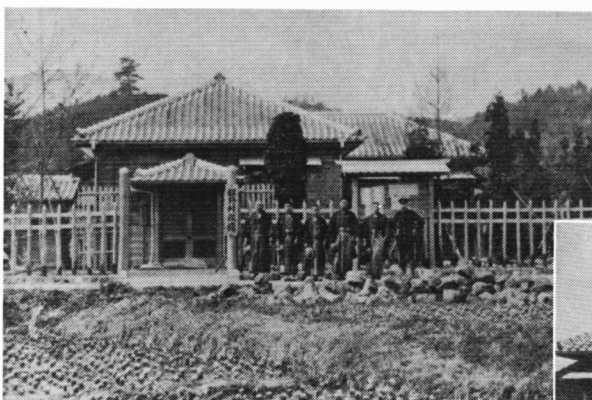
斎藤菊蔵さん
(原方)

松野まで出ていた馬車があったその馬丁が吹くラッパの音が私にやあ「テートパシヤ」と聞こえたもので、馬車をそう呼んでいたんだよ。あのころの国道は舗装もしてなくて狭かったけれど、子どもはただただわしやあ上町で明治34年1月29日に生まれた。わしら小学校へ行つてる時分にやあ、役場が今の上町の公会堂とこにあつてね、よく先生に連れられて注射を打ってもらいに行つたよ。あのころの役人は、男は背広を着、女は着物に袴をはいていて、大変いばつていたもんだよ。子どもん時分の楽しみつうと、岩本の実相寺のお会式に行くことがあったなあ。富士川の渡舟で越えてね。大人は二銭ぐらいで、子どもはただだったよ。

思い出のアルバムから

▲松野村役場（明治末期頃）

明治22年に南松野村と北松野村が合併し松野村が誕生、役場を南松野64番地に置いた。明治34年当時の村長は田中秀穂氏で、県道甲州街道工事もこの年に着手されている。



新築当時の富士川町役場（明治末期頃）▶

明治22年に木島村・岩淵村・中之郷村が合併し、富士川村が誕生。明治34年に町制を施行し富士川町となる。当時の役場は岩淵45番地（上町）にあったが、明治44年12月に現在地（岩淵121番地）に新築、翌明治45年1月から事務を開始した。ちなみに新庁舎の建築費は1,640円だった。また当時の町長は常葉一郎氏であった。

星の子



常葉町長は、9月30日に任期切れを迎える清市郎教育委員（半在家）と、9月5日に急逝された宮石省吾教育長（相生町）の後任委員に石川文彦氏（儘下町）と金指恭三氏（本通り四）を任命する人事案件を9月定例議会に提出し、議会の同意を得ました。これにより、教育委員は両氏を含め、望月康江氏、秋庭正和氏、上野直記氏の五名となったわけです。

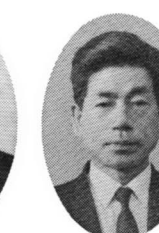
新教育委員となった石川文彦氏は、昭和35年4月～昭和37年3月と昭和45年～現在まで（昭和55年4月からは社会教育委員長）社会教育委員を、金指恭三氏は昭和47年10月～昭和51年4月まで教育委員長を、さらに現在は町社会福祉協議会長を務めています。



金指恭三氏



石川文彦氏

前教育長
故 宮石省吾氏新教育長
望月康江氏

また10月2日、町教育委員会が開かれ、故宮石教育長の後任教育長に望月康江氏（舟山町）が、教育委員長に金指恭三氏が選任されました。新教育長の望月氏は、昭和11年に静岡師範学校（現静岡大学教育学部）を卒業後、松野尋常高等小学校を振り出しに、昭和49年3月退職するまで、庵原郡や清

教育長に望月康江氏 新教育委員に石川・金指氏が

水市の小中学校で教諭・教頭・校長職を歴任、昭和49年10月からは教育委員、昭和51年8月からは教育委員長を務めています。

税の二豆知識

(その3)

今月は所得の種類についてお話ししてみます。

給与所得 サラリーマンの給料・年金など

所得金額 所得割の税額計算の基礎は所得金額です。この場合の所得の種類は、所得税と同様十種類でその金額は、一般に収入金額から必要経費を差し引くことにより算定されます。なお、住民税は前年中の所得を基準として計算されますので、たとえば昭和56年度の住民税においては、昭和55年中の所得金額が基準となります。

退職所得 退職金・一時恩給など（収入金額－退職所得控除額）

山林所得 山林を売った場合に生じる所得

一時所得 クイズに当たった場合などに生じる所得

配当所得 株式や出資の配当など

雑所得 他の所得にあてはまらない所得

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

収入金額 収入金額－必要経費＝雑所得の金額

ママさん記者の 役場訪問記 ～教育委員会編～

9月30日に教育委員会を訪問し、お話をうかがいました。委員会は、今年4月から前消防所の建物に移転しましたので、便利で入りやすくなりました。丸山教育課長さんは、とてもお話しがスムーズで、ソフトな口振りで、委員会の内容について詳しく話してくださいました。そのほんの一部ですが、ここで紹介してみます。

教育委員会は、前回までお話ししてきた町長部局の課とは、まったく別の独立した委員会であるということです。そのため仕事の内容についても異なった点がたくさんあります。まず、係の仕事で私たち町民に関係あるものを拾ってみますと、次のようになります。

●奨学金貸付の審査などの事務もあつています。
●学校教育係 学校関係の事務を中心に行っています。また生徒たちが毎日お世話になっている給食は昭和43年に学校給食センターとして町立第一小学校内にできましたが、給食に係ることはすべてこの係で処理されます。そして、小学生・中学生の転校・転入の手続もここでを行っています。
●社会教育係 とても幅広く社会教育に係ることは、すべてこの係で受け持ちます。この係を支えている委員には、社会教育委員・青少年健全育成委員・文化財保護委員・体育指導委員のみなさんがいます。一例として、体育館・スポーツ広場・夜間の運動場使用などの手続、またいろいろな学級も開設しています。そして、町民体育大会や町民文化祭を行うことにより、スポーツや文化の振興に寄与しています。それ以外に婦人会、青年団、文化協会、体育協会、ボイスカウト、スポーツ少年団、PTAなどの社会教育団体の活動にも協力しています。

以上、三つの係の仕事の一部について紹介してみました。訪問した時の中からいくつか身近に感じたことを上げてみます。

◎来年少小中学校に入学する児童の名前を整理し、入学前に健康診断を行うそうです。身体検査、知能テストもその一つです。

◎県立中央図書館や視聴覚ライブラリーと連絡を取り、よい映画やフィルムを貸出します。地域活動に有効利用されてはいいかです。

◎幼稚園児の帰宅時間が午後1時というので、父兄から「もう少し遅くまでおいてくれないか」との声がありますが、幼稚園の目的は学校へ入学する前の子どものしつけや学習が主体のため、体力的に考えて半日が限度だろうという話でした。教育委員会は、とても忙しく話の途中で何回も電話で中断されましたが、九人の職員がいつも笑顔で、来客者に接していました。



右前から太田・常盤モニターと丸山教育課長

10歳～14歳 育ち盛りの時期こそ体力づくりを

生涯で心身の発達が最も著しく、また、個性がはっきりしてくるのは10代の前半で、この時期は、まさに「育ち盛り」といえます。一生のうち二度とないこの盛りの時期に、自らを鍛え、いかなる苦難をも克服できる「たくましい体と、豊かな心」を培っておくことは、変化の激しい社会にあつて常に自己を充実し、生活を向上させていくための基礎づくりとして欠かせないことです。10歳から一四歳までの育ち盛りの子どもの基礎体力づくりは、特に、特に次のような点に配慮しましょう。

●「歳月人を持たず」――育ち盛りのこの時期に、ムダに過ぎた一日の損失は、大人になつてからでは一生かけても取り返すことはむずかしいものです。鉄は熱いうちに打て――この時期の体力づくりは特に大切です。

一〇代の前半は、身長が伸びたり、体重が増加するといった、単に外見上の変化だけでなく、心臓などの内臓や、骨格筋のような組織も時々刻々と成長し続けます。生涯に

戸籍の窓

56・9・1・9・30届出(敬称略)

おめでた

区名	出生児	保護者続柄
室野	谷津倉 健	寛 長男
相生町	芦川 愛潤	一郎 長女
上町	幸塚 敬	秀樹 長男
堺町	杉田 航	俊明 長男
宮町	齋藤 亮太	功 長男
小池	土橋 高志	良夫 長男

東町一	佐野	敦	英喜	長男
〃	鈴木	愛	吉明	二女
南町一	錦織由香里	峻		長女
南町二	深澤 光治	定光		長男
八幡町	高岡 由弘	和弘		長男
〃	稲葉 知香	知		二女
富士松野都	なりこ	久男		二女
清水町	深澤 美紀	伸弘		長女
儘下町	朝比奈笑里	敏行		二女
〃	森川雄一郎	光則		長男

一里塚



恒例の町民体育大会が10月4日天候にも恵まれ、おおぜいの町民の参加により行われました。私も今回、役場職員として初めて参加し、どの競技にも最後まで勝負を捨てることなく精一杯頑張る町民の生きいきとした姿を見ることができました。役場職員として参加した事業所対抗リレーも、日ごろの練習の効あり、一・二位をとることができました。

こうしてみると、すべて順調に進んだように思われがちですが、いくつかの問題点があったのも事実です。その一つとして、駐車場

の問題が上げられます。というのは、百六十台ほど確保した駐車場が競技開始ころには満車状態で、入りきれなくなった車が役場の駐車場に回ったり、あぐくの果てには河川敷の道路に駐車してしまうような状態でした。この原因は、会場近くの人たちの中で車を利用する人があったことと、合乗りする車が少なかったことだと思えます。私はもつと事前から会場近くの人に合乗りをするよう呼びかけておく必要があったのではなかったかと思いました。

二つ目は、競技全体を通じて感じたことですが、競技に参加した一部の入達の町民体育大会ではなく、もっと多くの町民の人たちが

かなしみ

区名	氏名	年齢
相生町	宮石 省吾	六四
舟山町	太田 ヤス	八一
旭町	小泉 新平	七八
〃	望月 六郎	六九
川坂	若月 森雄	七一
本通一	宮澤 孝	七九
八幡町	稲葉サダ子	六四
富士松野高瀬	耀	五〇
大北町	遠藤 松一	六七
儘下町	渡邊 せつ	八三
〃	佐野 庄次	六九

こそって参加できるような、そんな町民体育大会であれば「富士川町のスポーツの祭典」として、最高の行事となるのではないでしょう。 佐藤

編集後記

先日、一町民から広報「ふじかわ」戸籍の窓欄に掲載されていた「よろこび」と「おしあわせに」がなくなつて残念だという内容の投書を受けた。以前は反対に、本人でなければ戸籍抄本や謄本が取れないというのに、なぜ広報紙には勝手に掲載できるのか、プライバシーの侵害では——というお叱りを受けたことがある。そこで現在のは後者の意見を尊重して編集しているのである。

おかあさんの

知恵袋

スーパードンに行けば、たやすく手に入るマヨネーズ。既成品の味にならされている昨今、私たちは本当の味を知ろうと、8月8日婦人会館に若月美穂子先生を招き「ソース」に関する勉強と作り方の講座を開きました。

ところで「ソース」の基本になるものには、マヨネーズソースとフレンチ・ドレッシングがあります。そこで今回は、マヨネーズソースの作り方を紹介します——乾いたボールに卵黄一個と塩、コショウ各少々を入れ、泡立て器でかきまぜながら、サラダオイルを少しずつ加えていく。油約一カップ入ったら、酢大サジ二杯でOKです。

——で、でき上りです。さっそく私たちが休耕田を利用して作ったジャガイモと玉ネギを利用してサラダを作ってみると、大変おいしくできました。 サラダの味の最終的な決め手はなんといってもソースです。あなたも基本のソースに、いろいろなスパイスを加え、色や味、香りの変化を工夫すれば、我家ならではの独特の味を作り出せるのではないのでしょうか。

新町 望月昌子

富士川短歌会

9月詠草(天野寛選)

富士の街いまだ日は照り明るきに
雨雲走るこの山の上
宮町 浦田 次子
勤め終え裏の畑に菜を引きつつ平
穏なりき今日のひと日も
宮町 若月 幸江
転作にて培いし菊は伸びそらい初
秋の日に黄色かがやく
宮町 荻野 敏音
雑用に追われておくれし摘果作業
秋の一日たちまち昏るる
相生町 長谷川ゆり子
手拭をかぶりし女日影なき大地に
かまどすえて豆煮る
四十九 辻 すみじ
吾が池に入るべくもらふ鮒三匹佐
野川温泉に一日遊びし
坂下 植松 秀子
「自己抑制」遊ぐるに難きことば
ひとつ下ろすノートに先ず記した
り
水の口 上野みつ子
蛋族の老女黒衣を身にまとい滴江
の水辺砦を打てり
上町 斎藤 典子
幸福論ともに語りし友なれど汝が
求めし道我には遠き
小池 佐藤 ちよ
薄日さす木の下かげの水引草群が
るほどに色濃く咲けり